



本町の売り物は

答 地域産品を集約して対応

国は、「少子化対策」

答 町 長

国は、がんばる町村に特別の交付税措置を考えているようだが、本町の売り物は何か。

問 西 森

適切な間伐の推進を図り、下層植生を促し、動植物と共生できる健全な「森づくり」を目指す必要があると考える。

潰溜での事故を二度と起こさないためには、間伐が急務と考える。
間伐は、平成十三年から五年間に九百ha行ってきたが、十九年度には作業道二万二千六百m、間伐九四五haで約一億円の予算を計上。

答 産業建設課長

一月二十九日、猪による悲惨な事故が起きた。行政が果たす役割は何か。

問 西森常晴

国は、二千七百億円の予算を組んでいるという。
仁淀川町の目玉は「間伐促進」ではないか。
全国にも放送された、一月二十九日の「猪による事故」を二度と繰り返さない信念で、人間と動植物が共生できる町づくりに取り組む姿こそ、共感を呼ぶと信じる。

問 西 森

「地場産品発掘・ブランド化」「若者自立支援」など10プロジェクトをあげ、これに取り組めば、一町村につき単年度、上限三千万円の特別交付税措置が三年間受けられる。
本町では、地域産品を集約し、「地場産品発掘・ブランド化プロジェクト」の検討を始めている。



森林救援隊(ボランティア)による間伐作業 (上名野川)

回覧文書は職員が配れ

答 検討したい

問 西 森

地域担当職員制度を導入しての成果と感想を。

答 町 長

世帯数の少ない散在集落、延べ二八〇〇世帯を訪問。意見や要望を聞き緊急性の高いものから順

次対応し施策に反映している。

一つの例として、「コミュニティバス」の運行は住民の意見をもとに実施に移したものの。

問 西 森

提案だが、職員が過剰気味の仁淀川町だが、バイクを購入して、住民へ

答 町 長

区長に配布を頼むと住民の要望も伝わってくる。予算を組んで職員を回す考えはない。

の回覧文書は週一回、職員が届けたらどうか。

問 西 森

職員が週一回、回覧文書を持って訪問する。

その繰り返しの中で、一年後、二年後回を重ねることに町民の生の声が聞こえてくるのではないかと。

予算を組めといったのは乗用車では燃費が高いから、バイクを購入したかどうかと言ったので、人件費を組めといったのではない。合併して職員数が多いことは町長も認めているではないか。

答 町 長

提言の件は検討したい。

問 西 森

答 教育長

町長から、現時点で統合は考えていないとの方針が示されている。行政方針との整合性が必要と考えている。

議員の提案は、ことあるごとに話している。

問 西 森

池川小の卒業生は7人で、内2人は他町村の中学へ。池川中の新一年生は5人となるが。

答 教育長

クラブ活動などには支障がある。少ない状況の中で教育効果を上げるためできる限りの努力をしていく。

問 西 森

結婚して、仁淀川町で新婚生活を送り、中学入学時には町外へがブームになってきた。

中学校の統合を早急に進め、体力、知力、情操力と「力のある学校」づくりに努めないと、町の過疎化、衰退に拍車をかけると思うが。

答 教育長

県の学校規模の検討委員会の中でも出ているように、一学級二十人以上最低でも必要と考えている。

議長一ロメモ！

池川地区には三中学校、十小学校の時代もあり人口も九〇〇〇人余りで地域を支えていました。しかし現在一中、一小となり複式学級を取り入れることになるようだ。

昭和三十年代には中学

校卒業生を金の卵として都市に就職、都市の発展に尽力されました。地方では少子高齢化が進み、二月の新聞で十年以内に全国で二六四一、四国では四九四の集落が消滅の恐れと報道があり

ました。これから地方は独自の考え、取り組みをしないと国にも捨てられていくのでは。また、地域は地域の発想を展開していく事が大事ではないでしょうか。私も町民の皆様と共に考え、明るく楽しい田舎づくりをしていきましょう。議会を傍聴においでください。

生徒数

(現在)

	吾川中	仁淀中	池川中	合 計
中3年	14	18	22	54
2年	21	19	13	53
1年	16	18	5	39



ふたば保育所の改築は

答 保護者や地域の意見を参考に

問

若藤敏久

ふたば保育所は築三十年を経過し、手狭な上に老朽化が激しい。改築は急を要すると思うがその対策は。また、臨時職員が早出、遅番でクラスを持っていくが正職員が担当すべきではないか。

答

仁淀総合支所長

ふたば保育所は老朽化が進み、雨漏りなど修繕をしながら保育事業に当たっている。園庭や町道が狭く事故の危険性もある。新築、移転は保護者や地域の意見を参考に検討する。

答

仁淀健康福祉課長

正職員四人体制で対応しており、職員数基準で

は不足はしていない。園長には事務処理総括的な仕事もあり、最近は低年齢の入所者等で厳し

い状況にあり、三人の臨時職員を置き対応している。



築30年を経過し、老朽化が進んだ「ふたば保育所」(森)

池川高齢者生産活動センター

問

若藤

指定管理者との協定では、違反や必要な指示に従わないときは、業務の停止や取り消しができるが、池川高齢者生産活動センターの管理者(土佐自然工場)に前議会で指摘した指示をしたか、相手が指示に従わないのか。

協定書によると指定管理者は「信義に沿って履行し、円滑なセンター運営をしなければならぬ」とあるが履行されていると思うか。

問

若藤

答

池川総合支所長

経営は指定管理者に移っており、経営内容等調査すべきと思うが現段階ではその考えはない。前議会以降一度会ったが指示はしていない。今年度予算に委託料として六七〇万円計上しているが、詳細は今後話し合いで決定する。

答

池川総合支所長

土佐自然工場は高齢者に仕事を与え、善良なる管理者として誠実に業務を行っていると思う。

管理業務以外では信義に外れたかも知れないが、業務内容は適正と思う。

委託料六七〇万円は予算計上の段階であり、金額はこれから話し合う予定である。

問

若藤

答弁になっていない。あなたの考えではなく協定が履行されているか。「業務内容は適正で善良なる管理者だ」というなら提出されている業務報告書から聞くが、建物の維持費二四〇万円は高過ぎる。

また、年末、年始、日曜だけが休みで、年間三一〇日出勤の職員がいるが事実か。この職員の日給は六四〇〇円で、人件費総額四三〇万円。維持費の二四〇万円と合計で委託料の六七〇万円となるが、高齢者の賃金は委託料から支払われている。もう少し高齢者のことを考えてほしい。

答

池川総合支所長

報告内容に虚偽の記載はないと思いきなり金額はこれから確認し協議をする。



上仁淀橋の 老朽化が進んでいるが

答 耐震補強と塗装工事を国に要望



耐震補強工事を国に要望しているが（上仁淀橋）

問

坂本 伝一

国道四三九号の上仁淀橋は利用度の高い国道橋だ。老朽化が進んでいるが町の対応は。

答

町 長

県は平成十九年度には橋の耐震補強及び塗装工事の実施を国に要望している。改良工事は構造上大変厳しいと報告を受けている。

問

坂 本

か。裁判を傍聴している

答

教育長

事故が起こった場合、行政処分、刑事責任、民事責任の義務が課せられる。行政処分と刑事責任は運転手が個人として問われる責任で民事責任にかかる損害賠償は現在、市町村共済保険の方で手続きが進められている。

問

坂 本

運転手と検察側の主張が大きく食い違うことから、十一月十九日の話では、研究し勉強もしたいとの返事であったが、今後はどうなるのか。

答

教育長



スクールバス

スクールバス事故

裁判の傍聴に行ったか

答

行ったことはない

非常に関心はあるが傍聴に行ったことはない。



寺村小(休校中)の 今後の利用方法は

答 地域で検討中

問

岡田良成

寺村小学校は長い歴史を持ち、優秀な生徒が卒業している。現在休校だが今後復帰する見通しがあるか。

答

教育長

今後、学校として復帰する見通しはないと考えている。

問

岡田

復帰する見通しのない学校をどのように利用するか。具体的に検討しているか。

答

町長

校舎の利用は、地域の方に検討をお願いしており、今後も引き続きその問題を投げかけ有意義な活用が出来るよう考えている。現在計画はでない。

問

岡田

私の思いを提案する。

答

町長

高齢者の方が少しでも所得が上がるような、高齢者の内職センターなど民間企業に公募し無料貸与することを投げかけてみたかどうか。



平成16年4月から休校になっている寺村小。利用方法は地域に投げかけているが（寺村）



多い職員

合併して、3役、議員は1/3となったが（本庁）

多い（50～60人）職員の処遇は

答 質の高いサービスの提供に努める

問

岡 田

十二月定例議会で若藤議員の質問に町長は職員数が50人から60人多いと

答弁した。多い職員は辞められたら良い。職員のモラルが低い、あいさつができない、対応が悪いと厳しい町民の声が多いが、辞めさせることがで

答

町 長

きなければ、良い方法を考えているのか。

近隣の町村と比較した

場合に職員が多いことは事実である。

合併協議会で総合支所方式を採用し一定の職員は必要であり、限られた人員と財源の中で、時代のニーズにあった質の高いサービスの提供、効率的な体制づくりに努め、職員自ら資質を高め、新しいことに取り組む意欲や目標を達成する職場づくり、職員の資質の向上に努める。

問

岡 田

職員180人、臨時職員50

町外通勤者

町外から通っている職員は

答 旧吾川19、仁淀4、池川2 計25人

問

岡 田

町外からの勤務する職員数と臨時職員数は。

答

総務課長

町外から通っている職

人の給料は一二億五一九

九万五〇〇〇円。職員に

対して厳しい意見がある

ことを付け加えておく。

総合支所の職員は足りて

いるか。支所長の業務は。

答

池川総合支所長

住民に対してサービスを提供する努力をしている。職員が余っているとは思っていない。支所長としては職場環境づくりに配慮し、支所としてサービス低下にならないよう貢献し、存在感のある支所づくりに努力してい

きたい。

答 仁淀総合支所長

住民のニーズに応じたサービスの効率化を図り職員の指導監督をしている。

問

岡 田

支所長は課長兼務でないか。

答 池川・仁淀両支所長

支所長として職務を果たしたいと思う。

員には批判の声があることは、私も町長、助役も承知している。町外からの通勤者は25人で、内訳は旧吾川19人、旧仁淀4人、旧池川2人となっている。

臨時職員数は、一般事務9人、看護師補助8人、

保育士19人、その他、土木作業員、学校用務員に従事する職員13人、合計49人。